

ドイツの養豚場でアフリカ豚熱 発生！

【概要】

ポーランドとの国境沿いドイツ東部ブランデンブルグ州において家畜豚におけるアフリカ豚熱(ASF)が発生。

同州では昨年9月以降、野生イノシシにおける発生が確認されており、2021年7月16日までに1,273件(ドイツ全体で合計1,561件、全て野生イノシシ)の発生が確認されているが、これまで家畜豚での発生はなし。

- 1例目： シュプレー・ナイセ地区 313頭飼養
- 2例目： メルキッシュ・オーダーランド地区 2頭飼養
- 3例目： メルキッシュ・オーダーランド地区 4頭飼養

※ 昨年9月の野生イノシシにおける発生を受けてドイツからの豚、豚肉等の輸入を一時停止しており、現在も停止中。

適切なワクチン接種と「飼養衛生管理基準」の遵守が大切です。

農場を守るために

豚舎入室時、豚舎専用長靴と服を着用しましょう

防鳥ネットなど隙間がないか確認し、修繕しましょう



電柵・ワイヤーメッシュ・豚舎の破損等あったら、すぐに修繕しましょう

豚が出荷台を歩く前に消毒しましょう

野生動物の隠れる場所を無くすため、農場内の草刈り・清掃を定期的に行いましょう

異常に気づいたら、すぐに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします！

飛騨家畜保健衛生所

TEL : 0577-33-1111 (内線402、405) FAX : 0577-32-9019

※閉庁時には案内に従い「1」番 をプッシュしてください。土日・祝日、閉庁時も通報を受け付けています。